第2部

引き続きまして第２部を放映いたします。

1. タイトルは、「ロータリー財団・AKSの入会式に参列して」です。
2. この写真はシカゴ郊外のEvanstonにある国際ロータリー総本部の建物です。通称One Rotary Centerと呼ばれております。なお、これからのスライドの５，６割は私が撮影したものですが、他は開会式の担当カメラマンが撮った写真を拝借しております。

 3. 入会式参列に先立って、多くの参列者がシカゴにあるロータリーの縁の地をたずねる。

４．ロータリー創立100周年を記念してこのユニテイビルに飾られているボード。

５. シカゴ郊外にあるポール・ハリス邸。

６．内部に入ると、現在復元中ですが、寄付が思うように集まらず、入り口にはロータリアンであろう方々が寄付を募っていました。

７.　ポール・ハリス邸の近郊はハリスがこの素晴らしい環境のもとに育ち、立派な業績を残された様子を彷彿とする思いでした。

８．ポール・ハリスの墓。1947年（昭和22年）

12月27日にご逝去されています。

９．メモリアルの手前には、ロータリークラブの初代会長であった、シルベスター・シールのお墓も見えます。

10. RCの創設モニュメント

11．入会式の様子　なお、入会式は出席者の意向によって、毎年RI本部の他３，４か所で行われます。

12．RI会長の開会挨拶

13. ロン・財団委員長の挨拶　新メンバー一人一人を国名と共に紹介が行われ、入会者の方々の7分間スピーチが始まりました。

14. 入会式の会場風景（１）

15. 同じく会場の風景（２）

16. 入会者の一人である、米国出身のクローデイア・カナデイ夫人のスピーチ

17. 台湾・桃園RCの趙（チョウ）氏のスピーチ

18. RI会長と財務管理委員長から表彰状を受ける

19. ベッキーさん御夫妻（米国）も表彰状を受ける

20. 私の7分間のスピーチ 入会動機等を伝えた

21. スピーチの終了後、RI会長と管理委員長から表彰状が授与される

22. 懇親会でのひとコマ　向かって左から三木RI理事、北ＴＲＦ理事、私、妻、及び　北令夫人

23. RI役員との記念撮影　向かって左からスリランカの理事、台湾の元ＲI会長、 TRF財団管理委員長、私と妻、RI会長、及びRI会長エレクトの面々

24.　AKS ギャラリーの全景　2018年８月末現在、886名のメンバーの肖像画と略歴が永久保存されております。（広角レンズを使用しておりますので実際とは少し異なります）

25. ＡＫＳ ギャラリーの入り口にて　ここを訪れた方はどなたでもタッチパネルで検索ができます

26. 入会式に参列された方々全員（米国、カナダ、台湾、インド、ペルー、および日本）の記念写真

27. 台湾出身者だけの新メンバー8名とそのご家族たち

28. 分科会　入会式終了後、引き続いてロータリー財団の現況報告が行われました

29. 新会員を前にしてロン財団委員長の現況報告が行われる

30. この数字は、 過去５年間のロータリーメンバー数の推移で、　次第にその数が減少傾向であることが読み取れる

31. 同じく世界のロータリークラブ数とメンバー数の推移

　　1年間で、メンバーが約1,195,000名から約78,000名減少し、クラブ数では逆に25クラブが増えている事が窺える。

32. 2017-2018年度　財務内容結果報告　大まかに申し上げれば、収入が約398百万ドル（邦貨で約43７億円）支出が328百万ドル（同じく約36０億円）となっております。

33. 　入会式後に行われた晩餐会(1)での一コマ　Evanstonにあるミシガン・ショアーズRCで開催しましたが、比較的質素に行われました

34.　晩餐会の 会場（２）の様子

35. 会場（３）の様子

36. 会場（４）の様子

37. スライドを読み上げます

3８.　終わりに　　スライドを読み上げます

此れを持ちまして第2部を終了させて頂きます。ご清聴誠に有難う

ございました。